

7	6	5	4	3	2	1
<p>絵を 見て お話を 書こう</p> <p>○ものの 名前を あらわす ことば</p> <p>—ニャーゴ—</p> <p>そうぞうを ふくらませて 読もう</p>	<p>しを 読もう</p> <p>— いろんな おとの あめ—</p> <p>— 空に ぐうんと 手を のばせ—</p> <p>みんなではなしあおう</p>	<p>二つの 文しようを くらべよう</p> <p>— どうぶつえんの かんばんと ガイドブック—</p> <p>言いつたえられて いる お話を しろ</p>	<p>○じゅんじよ</p> <p>こんな ことを して いるよ</p> <p>話そう、二年せいの わたし</p>	<p>○かたかなで 書く ことば</p> <p>すきな 場めんを 見つけよう</p> <p>— 名前を 見て ちょうだい—</p>	<p>はたらく 人に 話を 聞こう</p> <p>たんぽぽの ひみつを 見つけよう</p> <p>— たんぽぽ—</p> <p>かんさつした ことを 書こう</p>	<p>○はなしたい、ききたい、すきな こと</p> <p>お話を 音読しよう</p> <p>— かぜの ゆうびんやさん—</p> <p>○としゃかんへ いこう</p> <p>○かん字の かき方</p>
●	●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●	●
					●	

児童用

教師用

聞き取り問題

○はなしたい、ききたい、すきな こと  
 お話を 音読しよう  
 ①かぜの ゆうびんやさん  
 ○としよかんへ、いこう  
 ○かん字の かき方

※無断で複写・複製をすべしを禁じます。

一 つぎの 文しようを 読んで、 もんだいに こたえましよう。

『65』

「あげはちようさん、ゆうびんです。」  
 花びらみたいなの、いい においの 手がみが  
 とききました。

「あら、うれしい。パーティーの しようたい  
 じようですって。こうえんで、ばらの 花が  
 さいたんですって。ぜひ いかなくちゃ。」  
 おしゃれな あげはちようは、

と したくを はじめます。

「犬さん、ゆうびんです。」

にわの 犬ごやの、おじいさん犬の ところ  
 には、はがきが とききました。

「ほう。となり町に ひっこして いった、ま  
 ごたちからだ。みんな げんきに くらして  
 います、か。うん。よかった、よかった。」  
 犬は、目を ほそくして、なんども なんど

も はがきを 読みなおします。

「すずめさん、ゆうびんです。」  
 こんどの 手がみは、やねの 上。



、かぜの じてん車は、

どこにでも はいたつします。

「すずめの 学校が はじまる おしらせよ。」  
 手がみを 読んで、すずめの おかあさんが  
 言いました。

「学校って、なあに。なに する ところなの。」  
 この はる 生まれた 子すずめたちが き  
 きました。

「みんなで あそんだり、うたを うたったり  
 するのよ。 じようずな

とびかたとか、えさの さがしかたとか、い  
 ろんな ことを ならうのよ。」

③「わあ、おもしろそう。早く いきたいな。」  
 子すずめたちは、みじかい はねを ひろげ  
 て、おかあさんの まわりを

とびまわりました。

たけしたふみこ「かぜのゆうびんやさん」より

に あてはまる ことばを

から えらんで かきましよう。

〈40各10〉

やっぱり ても いそいそ  
 それから すると ぴよんぴよん

(解答欄にかくように説明を補足してください。)

2 ① いい においとは どのような においですか。一つ えらんで、

( ) に ○ を つけましよう。 〈5〉

( ) 花びらみたいなの におい。

( ) おいしい みつの におい。

( ) おしゃれな ふくの におい。

3 犬は、なぜ ② なんども なんども

はがきを 読みなおしたのですか。

「くから。」という ことばを つかっ  
 て、かきましよう。 〈10〉

4 「わあ、おもしろそう。」と、子すず

めたちが 話している ところは、

どんな声で 読むと よいですか。

「く声。」という ことばを つかって  
 かきましよう。 〈10〉

二 つぎの 赤で かかれた 画は、

なん画目に かきますか。( ) に

かん字で かきましよう。 『15各5』

左 右 正

三 ③ に かん字を かきましよう。

に かん字を かきましよう。 『20各5』

1 げん き

にくらす。 2 メモに

か

3 かぜ がふく。 4 としよかんへ

い く。

く。

くみ	ばん	点	評
		35	知識技能
		65	しこう判断表現

【一】三田先生の話を聞いて、三田先生がしているしごとについて正しいものに○を、まちがっているものに×をつけましょう。『15各5』

( ) けがをした人の手あてをする。  
 ( ) きゆうしよくを作っている。  
 ( ) けんこうのために、してもらいたいことをつたえている。

【二】つぎの文しよをよんで、もんだいにこたえましょう。『60』

たんぽぼはじよぶな草です。はがふまれたり、つみとられたりしても、また生えてきます。ねが生きていて、あたらしいはを作り出すのです。

たんぽぼの  をほってみました。ながい  ねです。百センチメートルいじよのものがありました。はるのはれた日に、花がさきます。花は、夕方日がかげると、とじてしまいます。夜のあいだ、ずっととじています。つぎの日、日がさしてくると、 ひらきます。

花をよく見てみましょう。一つの花のように見えるのは、 花のあつまりなのです。小さな花をかぞえてみたら、百八十もありました。これよりおおいものも、少ないものもあります。この小さな花に、みが  できるように なって います。



【一】文しよ中の  にあてはまることばを  からえらんで書きましょう。

- 大きな 小さな 一つずつ みね しかし また

2 たんぽぼのはがふまれたり、つみとられたりしても、また生えてくるのはなぜですか。「くから。」ということばをつかって書きましょう。 <10>

3 たんぽぼの花は、一日のうちにならぬでしょうか。正しいじゆんになるように  にばんごうを書きましょう。 <20各5>

はるのはれた日に、さく。夜のあいだ、ずっととじている。つぎの日、日がさしてくると、ひらく。夕方日がかげるととじる。

4 みの回りのものをかんざつしたことを、どのように「かんざつカード」に書くかよいですか。正しいものに○をつけましょう。 <完答10>

( ) 大きさ、かたち、いろなどを書く。  
 ( ) についているものにたとえて書く。  
 ( ) 今日、あったできごとを書く。  
 ( ) すう字をつかってくわしく書く。

【三】  にかん字を書きましよう。『25各5』

- 1  かぞえる。 2  じかんわり
- 3  きいろの花。 4  おおい。
- 5  かんがえる。

(解答欄に書くように説明を補足してください。)

○かたかなで書くことば  
すきな 場めんを 見つけよう  
— 名前を見て ちょうだい —

	くみ	ばん
--	----	----

知識技能	/50
思考判断表現	/50

※無断で複写・複製をすべしを禁じます。

一 つぎの 文しよを 読んで、 もんだいに こたえましよう。 『65』

「あたしは かせらないわ。だって、あたしの ぼうしだもん。」

から 湯気が もうもうと 出て きました。 、えっちゃんの からだ

、ぐわあんと 大きく なりました。 、ぐわあんと 大きく な

「たべるなら たべなさい。あたし、おこって いるから、あついわよ。」

湯気を 立てた えっちゃんの からだが、 、ぐわあんと 大きく な

りました。そうして、大男と おなじ 大きさに なって しまいました。

えっちゃんは、たたみのような 手のひらを まっすぐ のばして 言いました。

「あたしの ぼうしを かせいなさい。」 大男は、ぶるっと みぶるいを しました。

ぶるぶる ふるえながら、空気の もれる 風 せんのように、しぼんで、しぼんで、しぼんで、

とうとう 見えなく なって しまいました。  あとに、ぽつんと

あまきみこ「名前を見てちょうだい」より



1  に  あてはまる ことばを  から えらんで、書きましよう。 <20各5>

しかしまた だから そして すると その

2 「あついわよ。」とありますが、どうして あついですか。「くから。」という ことばを つかって、書きましよう。 <10>

(解答欄に書くように説明を補足してください。)

3 大男は、何のように <sup>②</sup>しぼんで きましたか。文しよから えらんで、九字で ぬき出ましよう。 <10>

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

4 えっちゃんは なぜ <sup>③</sup>「ああ、よ かった。」と 言ったのでしよ。 「くから。」という ことばを つかつ て、書きましよう。 <10>

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

5 つぎの  に あてはまる こ とばを  から えらんで 書き ましよう。 <15各5>

お話は、いくつかの 場めん に 分けられます。お話の 中の

を 手がかりに  して 分けます。

時 ページ 声 場しよ 人ぶつ うごき

二  かたかなで 書く ことばを  から えらんで、二つ 書きましよう。 <10各5>

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
にほん	いんど	わんわん	

三  に かん字を かきましよう。 <25各5>

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
うし	あたま	がい	こく	
けい	さん	した	しい。	
する。				











※無断で複写・複製をすべしを禁じます。

一 つぎの 文ししょうを 読んで、  
 もんだいに 答えましょう。

『50』  
 ① として、あと 少しの ところまで 来た と  
 きです。ねこは、ぴたっと 止まって、  
 ニヤゴ  
 ② できるだけ こわい かおで さげびました。  
 「おまえたちを 食って やる。」  
 と 言おうと した その ときです。  
 ニヤゴ  
 ニヤゴ  
 ニヤゴ  
 三びきが さげびました。  
 「へへへ、たまおじさんと はじめて 会った  
 とき、おじさん、ニヤゴって 言ったよね。  
 あの とき、おじさん、こんにちわって 言っ  
 たんでしょ。そして、今の ニヤゴが さ  
 よならなんでしょ。」  
 「おじさん、はい、これ おみやげ。」  
 「みんな 一つずつだよ。ぼくは、おとうとに  
 おみやげ。」  
 「ぼくは、妹に。」  
 「ぼくは、おとうとに。 たまおじさんは、おとう  
 とか 妹 いるの。」  
 ④ 「おれの うちには、子どもが いる。」  
 ねこは、小さな 声で 答えました。  
 「へえ、何びき。」  
 「四ひきだ。」  
 ねこが そう 言うと、  
 「四ひきも いるなら 一つじゃ 足りないよね。  
 ぼくの あげる。」  
 「ぼくのもの あげるよ。」  
 「ううむ。」  
 ⑤ ねこは、大きな ためいきを 一つ つきまし  
 た。 みやにしたつや「ニヤゴ」より

① できるだけ こわい かおで  
 「ニヤゴ」と さげんだのは なぜ  
 ですか。「くから。」という ことばを  
 つかって、書きましよう。 『10』

② 三びきの 子ねずみが さげんだ  
 「ニヤゴ」には、どんな いみが  
 こめられて いますか。 『10』

③ 「これ おみやげ」と 言って、子  
 ねずみは ねこに 何を わたしまし  
 たか。 『10』

④ 「おれの うちには、子どもが い  
 る」を 音読するとき、どんな 声で  
 読めば よいですか。一つ えらんで  
 ( ) に ○を つけましよう。 『10』  
 ( ) おどかさような 大きな 声。  
 ( ) こまったような 小さな 声。  
 ( ) こわがっているような ふるえた 声。

⑤ ねこは、なぜ 大きな ためいきを  
 ついたのですか。「くから。」という  
 ことばを つかって、書きましよう。 『10』

二 絵を 見て お話を 書いて いま  
 す。場めんと 場めんが つながるよ  
 うに [ ] に あてはまる ことば  
 を [ ] から 一つずつ えらんで  
 書きましよう。 『30各10』

①  ① くまの子と きつねの子が 川のむこうへ 行ききました。 あそび、かえ ろうと しました。	②  ② 来る ときには かかって いた はしが、 なくなつて しま した。二人は こまって しま いました。
③  ③ くまの子の お父さんが、ふねに のつて おかえに きました。	④  ④ 二人は ぶじに 家にかえる ことが できました。

こうして すると ところが

三 [ ] に かん字を 書きましよう。 『20各5』

1 かお [ ]  
 おとうと [ ]  
 2 [ ] る。  
 がい [ ]  
 こく [ ]  
 ご [ ]



(例) (教師判断)は、授業での指導をふまえ、記述より判断し、部分点を与えてください。

※無断で複写・複製をすることを禁じます。

東しよ	2年	国上	6令
お話を	音読しよう	かぜの	ゆうびんやさん
かん字の	かき方	かき方	かき方
知識技能	35/	思考判断表現	65/

1 つぎの文しようを 読んで、

もんだいに こたえましよう。

『65』

「あげはちようさん、ゆうびんです。」  
花びらみたいなの、いい においの 手がみが  
ときました。

「あら、うれしい。パーティーの しようたい  
じようですって。こうえんで、ばらの 花が  
さいたんですって。ぜひ いかなくちゃ。」  
おしやれな あげはちようは、

いそいそ

と したくを はじめます。

「犬さん、ゆうびんです。」

にわの 犬ごやの、おじいさん犬の ところ  
には、はがきが ときました。

「ほう。となり町に ひっこして いった、ま  
ごたちからだ。みんな げんきに くらして  
います、か。うん。よかった、よかった。」  
犬は、目を ほそくして、なんども なんど

も はがきを 読みなおします。

「すずめさん、ゆうびんです。」  
こんどの 手がみは、やねの 上。



でも

、かぜの じてん車は、

どこにでも はいたつします。

「すずめの 学校が はじまる おしらせよ。」  
手がみを 読んで、すずめの おかあさんが  
言いました。

「学校って、なあに。なに する ところなの。」  
この はる 生まれた 子すずめたちが き  
きました。

「みんなで あそんだり、うたを うたったり  
するのよ。 **それから**、じようずな

とびかたとか、えさの さがしかたとか、い  
ろんな ことを ならうのよ。」

「わあ、おもしろそう。早く いきたいな。」  
子すずめたちは、みじかい はねを ひろげ  
て、おかあさんの まわりを

ぴよんぴよん

とびまわりました。

たけしたふみこ「かぜのゆうびんやさん」より

に あてはまる ことばを

から えらんで かきましよう。

〈40各10〉

やっぱり ども いそいそ  
それから すると ぴよんぴよん

(解答欄にかくように説明を補足してください。)

2 ① いい においとは どのような

においですか。一つ えらんで、

( ) に ○ を つけましよう。 〈5〉

(○) 花びらみたいなの におい。

( ) おいしい みつの におい。

( ) おしやれな ふくの におい。

3 犬は、なぜ ② なんども なんども

はがきを 読みなおしたのですか。

「から。」という ことばを つかっ

て、かきましよう。 〈10〉

まごたちが、みんな元気にくらしてい

ることがわかり、うれしかったから。

※理由を表す言葉「から」がなければ2点減点。(教師判断)

4 「わあ、おもしろそう。」と、子すず

めたちが 話している ところは、

どんな声で 読むと よいですか。

「声。」という ことばを つかって

かきましよう。 〈10〉

うきうきとしたあかるい声。

※「声」がなければ2点減点。(教師判断)

3 つぎの 赤で かかれた 画は、

なん画目に かきますか。 ( ) に

かん字で かきましよう。 『15各5』

左 (一) (二) (三) (四) 右 正

1 ③ に かん字を かきましよう。 『20各5』

元 気 にくらす。 2 メモに

風 がふく。 4 としよかんへ

行 く。

書 く。



(例) (教師判断)は、授業での指導をふまえ、記述より判断し、部分点を与えてください。

※無断で複写・複製をすることを禁じます。

東書	2年	3	令6こ上
	○かたかなで書くことば すきな場めんを見つけてよう —名前を見てちょうだい—		
	P54~73	名前	
		点	
知識技能		/50	
思考判断表現		/50	

一 つぎの文しよを 読んで、 もんだいに こたえましよう。 『65』

「あたしは かせらないわ。だって、あたしの ぼうしだもん。」

すると

、えっちゃんの からだ から 湯気が もうもうと 出て きました。

そして

、ぐわあんと 大きく なりました。

「たべるなら たべなさい。あたし、おこつて いるから、あついわよ。」

また

、ぐわあんと 大きく なりました。そうして、大男と おなじ 大きさに なつて しまいました。

えっちゃんは、たたみのような 手のひらを まっすぐ のばして 言いました。

「あたしの ぼうしを かせいなさい。」

大男は、ぶるっと みぶるいを しました。 ぶるぶる ぶるえながら、空気の もれる 風 せんのように、しぼんで、しぼんで、しぼんで、 どうとう 見えなく なつて しまいました。

その

あとに、ぽつんと

一つ、小さな 赤い もの。

「あつ、あたしの ぼうし。」

ひろつて、名前を 見ました。

う、め、だ、え、つ、こ。青い ししゅう系で、 たしかに、そう 書いて あります。

「ああ、よかった。」

あまきみこ「名前を見てちょうだい」より



一 [ ] に あてはまる ことばを [ ] から えらんで、書きましよう。 <20各5>

しかしまた だから そして すると その

(解答欄に書くように説明を補足してください。)

2 「あついわよ。」とありますが、どうして あついのですか。「くから。」という ことばを つかつて、書きましよう。 <10>

えっちゃんがおこっているから。

※理由を表す言葉「から」がなければ2点減点。(教師判断)

3 大男は、何のように <sup>②</sup>しぼんで きましたか。文しよから えらんで、九字で ぬき出ましよう。 <10>

風	空
せ	気
ん	の
	も
	れ
	る

のように。

4 えっちゃんは なぜ <sup>③</sup>「ああ、よ かった。」と 言ったのでしよ。 「くから。」という ことばを つかつて、書きましよう。 <10>

自分の名前が書かれたぼうしが もどつてきたから。

※理由を表す言葉「から」がなければ2点減点。(教師判断)

5 つぎの [ ] に あてはまる ことばを [ ] から えらんで 書きましよう。 <15各5>

お話は、いくつかの 場めんに分けられます。お話の 中の

時

場しよ

人ぶつ

を 手がかりに して 分けます。

時 ページ 声 場しよ 人ぶつ うごき

二 かたかなで 書く ことばを [ ] から えらんで、二つ 書きましよう。 <10各5>

インド

ワンワン

※順不同

にほん いんど わんわん

三 [ ] に かん字を かきましよう。 <25各5>

1 牛 うし 2 頭 あたま 3 外国 がいこく

4 計算 けいさん する。 5 親 したしい。









(例) (教師判断)は、授業での指導をふまえ、記述より判断し、部分点を与えてください。

※無断で複写・複製をすることを禁じます。


一 つぎの しを 読んで、もんだいに 答えましょう。

いろいろな おとの あめ  
きしだ えりこ

あめ あめ  
いろいろな おとの あめ

はっぱに あたって ぴとん  
まどに あたって ぱちん  
かさにあたって ぱちん  
ほったに あたって ぷちん  
てのひらの なか に ぽとん  
こいぬの はな に ぴこん  
こねこの しっぽに しゆるん  
かえるの せなかに ぴたん  
すみれの はなに しとん  
くるまの やね に とてん

あめ あめ  
いろいろな おとの あめ



一 から あてはまる ことばを 書きましょう。

やね あめ はな あな なか おと おふる

二 ばちんの ところは どのよう に 読むと よいですか。あまつぶが ど んな ようすか そうぞうして 書き ましょう。

・あまつぶがはじけるように、はやく読む。  
・はずんで読む。  
(教師判断)

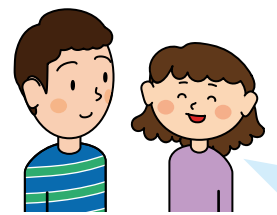
三 しの 中に、さいごの 文字が す べて「ん」になっっている ところが あります。そのわけを つぎから え らんで ○をつけましょう。

- ( ) つよく 言うため。
- ( ) やさしく するため。
- (○) リズムを よく する ため。

二 どのよう に 聞くと たのしく は なしを つなぐ ことが できるかを 考えて、 に ことばを 書きま しょう。

① わたしは 「おおきな かぶ」の せかいに 行って みたいです。

③ みんなで きょうかし て かぶを ぬくの が たのしそうだと 思った からです。



② なるほど。どう してそのお話のせ かいに行ってみた いのですか。(教師判断) ※③が答えになる質問になれば可。

④ みんなでかぶを ぬくのは楽しそう だね。(教師判断) ※③の話を受け止めていれれば可。

三 友だちの はなしに しつもんを します。( )に あてはまる こ とばを から えらんで 書き ましょう。

- 「わたしは え本が すきです。」
  - 「どの え本が すきですか。」
  - 「ももたろうの え本 です。」
  - 「どうして すきなのですか。」
  - 「ももたろうが おにを やっつける ところが かつこい から です。」
- どうして たとえば どの

四 に かん字を 書きましょう。

- 一 友だちと 話 し 合 う。
  - 二 たの しい。
  - 三 ゆき がふる。
- 【20各5】





東 書	
2年	
2	
令6 国上	
かんざつした	はたらく 人に話を聞こう たんぼの ひみつを見つこう たんぼの
ことを書こう	
P 34~53	
名 ま え	
	くみ
	ばん
評	点
■ 知識技能	/35
しこう判断表現	/65

※無断で複写・複製をすることを禁じます。

聞き取り問題

※はじめにテストを裏返して配る。

必要であればメモをとる等、学級の実態や目的に応じて言葉を添えてもよい。

音声データ



※問題文が読み上げられます。

■ 聞き取り問題を始めます。テストは裏になっていますか。(確認する。)  
今から青木さんが保健室の仕事について、三田先生に話を聞きます。一回だけ読みますので、よく聞き、問題に答えましょう。  
**(三十秒程度を目安に読む。)**

(青木さん) 今日は、保健室の仕事について、お話を聞かせてください。よろしくおねがいします。

(三田先生) はい、よろしくおねがいします。

(青木さん) 三田先生は、どんな仕事をしていますか。

(三田先生) けがをした人の手当てをしたり、具合が悪くなった人の熱を測ったりする仕事をしています。

また、保健だよりも作っています。健康のために、みんなに知ってもらいたいことを伝えています。

以上で読むのは終わりです。テストを始めましょう。